

Leader

LV5490 クイックマニュアル



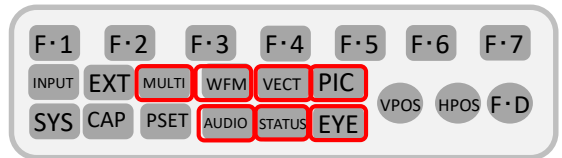
目 次

測定画面	2
INPUT設定	3
レイアウト呼出 (4 K or SINGLE 設定)	4
レイアウト呼出 (SIMUL 設定)	5
STATUS	6
イベントログ	7
位相差測定	8
位相差測定 (12G-SDI)	9
一般的な設定測定	10
GIE色度図表示 (LV5490SER05)	11
シネゾーン	12
シネライト (%表示)	13
HDR表示 (LV5490SER07)	14
AUDIO (LV5490SER03)	16
EYE/JITTER (LV5490SER02/LV5490SER06+09)	17
ビデオノイズメーター (LV5490SER10)	18
スクリーンキャプチャ	19
フレームキャプチャ	20
信号出力設定 (ジェネレータ 設定)	21
イニシャライズ設定	21
レイアウト変更—基本—	22
レイアウト変更 (概要)—基本例—	23
レイアウト変更 (手順)—基本例—	24
レイアウト変更 (概要)—応用例1—	25
レイアウト変更 (手順)—応用例1—	26
レイアウト変更 (概要)—応用例2—	27
レイアウト変更 (手順)—応用例2—	28
プリセット登録/削除	29
プリセット呼出	29

Leader

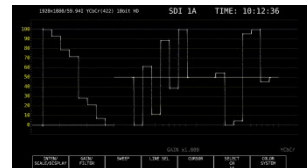
LV5490 クイックマニュアル

測定画面



WFM ビデオ信号波形表示

ビデオ信号波形が表示されます。選択したラインの波形を表示するラインセレクト表示、YCbCr表示、RGB表示、疑似コンポジット表示などできます。



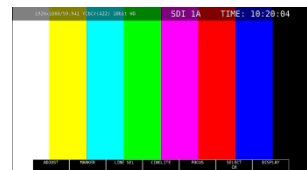
VECT ベクトル波形表示

ベクトル波形が表示されます。ラインセレクト表示、ベクトルマーカ表示、疑似コンポジット表示、CIE色度図表示(LV5490SER05)などできます。



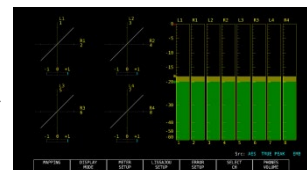
PIC ピクチャー表示

ピクチャーが表示されます。モノクロ表示、マーカ表示、ラインセレクト表示、CINE LITE II、フォーカスアシスト表示(LV5490SER04)などできます。



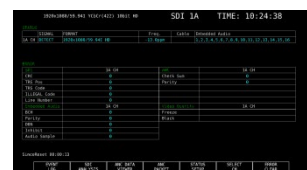
AUDIO オーディオ表示 (LV5490SER03)

オーディオが表示されます。(LV5490SER03 が実装されていないとき、AUDIOキーは無効です) 選択した信号の、リサージュ表示、サラウンド表示、メーター表示、ステータス表示などできます。



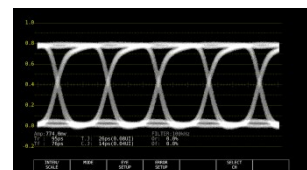
STATUS ステータス表示

STATUS キーを押すと、ステータスが表示されます。イベントログ表示やデータダンプ表示、位相差表示などできます。



EYE アイパターン表示 (LV5490SER02/LV5490SER06 + LV5490SER09)

アイパターンが表示されます。(LV5490SER02/LV5490SER06 + LV5490SER09が実装されていないとき、EYE キーは無効です)モード切替によって、アイパターンのほかにジッタも表示できます。



MULTI マルチ表示

各測定画面を組み合わせたマルチ画面が表示されます。レイアウトを切り換えることで、5種類のレイアウトを選択できます。



Leader

LV5490 クイックマニュアル

INPUT設定

SYS > F・1 (SIGNAL IN OUT)

F・2 (PREV TAB)、F・3 (NEXT TAB)で **SDI IN** タブを選択します。

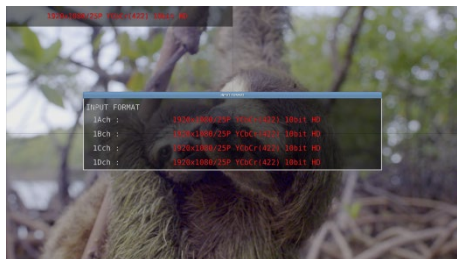
各項目を入力信号に合わせて設定します。設定はF・Dを回して選択し、押してチェックマークを入れます。設定の最後にF・1 (COMPLETE)を押して確定します。

SDI Systemのフォーマット選択は取説の5.2 測定信号の設定を参照してください。



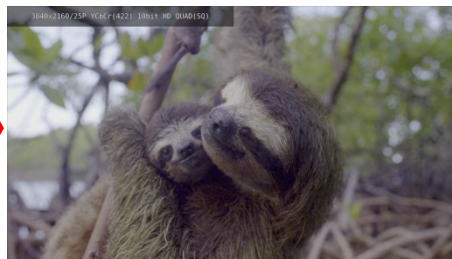
入力フォーマットのエラー表示

システム設定の **SDI IN** タブで設定した内容に対して、適切なフォーマットが入力されないと、フォーマットを赤色で表示したり、画面中央にINPUT FORMAT ウィンドウを表示したりします。このときは **SDI IN** タブの設定、入力信号、ペイロードIDの確認が必要です。下図は4K HD Quad Linkの入力信号に対して **SDI IN** タブの設定が4K 3G Quad Linkになっている場合のエラー表示画面です。



入力フォーマットエラーウィンドウが表示された例

SDI IN タブのSDI System
設定を入力信号に合わせた
4K HD Quad Linkにすること
でエラーがなくなります。



エラーがなくなり、INPUT FORMAT ウィンドウが表示されなくなります。

補足: ペイロードIDについて

LV5490では入力信号のSYNCなどを解析してフォーマット情報などを判断しますが、入力信号で判断ができない項目はペイロードIDで判断します。LV5490は入力信号のペイロードIDまたは **SDI IN** タブ上で設定したペイロードIDのどちらかを指定することが可能です。(**SDI IN** タブのPayload ID項目のUSE / Not USE で設定できます。) LV5490で設定できるペイロードIDは下記の項目です。

(Payload ID Not USE or Missing項目)

Division	: Square	/	2 Sample Interleave
i/PsF Slect	: Interlace	/	Segmented Frame (PsF)
Color System	: YCbCr422	/	YCbCr444 / RGB444 / XYZ444
Pixel Depth	: 10bit	/	12bit

注意: SDI System の設定により設定できなくなる項目があります。

Leader

LV5490 クイックマニュアル

レイアウト呼出 (4K or SINGLE設定)

MULTI > F・1 (LAYOUT SELECT)

LAYOUT SELECTの選択でレイアウトUSER 1～5の呼出ができます。

ユーザーレイアウトが出荷時設定の場合、下記の内容で表示されます。

下記の設定で表示される画面です。(下図は4Kフォーマット入力時の画面です。)

1.SDI System設定: SYS > F・1 (SIGNAL IN OUT) > SDI IN タブ)画面上からF・DでSDI System項目の4Kフォーマットを選択・チェックマークを入れ、F・1 (COMPLETE)を押して確定します。

2.DISPLAY設定: INPUT > F・7 (DISPLAY)をSINGLEに設定します。

* ユーザーレイアウトはマウスにより自由に変更ができます。レイアウト変更P16参照



USER 1



Format	INPUT	TIME
VECT	WFM	
STATUS	PIC	

USER 2



Format	INPUT	TIME
PIC		
WFM	VECT	

USER 3



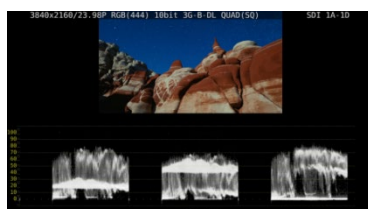
Format	INPUT	TIME
VECT		
WFM	PIC	

USER 4



Format	INPUT	TIME
PIC		
WFM		
VECT		

USER 5



Format	INPUT	TIME
PIC		
WFM		

Leader

LV5490 クイックマニュアル

レイアウト呼出 (SIMUL設定)

MULTI > F・1 (LAYOUT SELECT)

LAYOUT SELECTの選択でレイアウトUSER 1～5の呼出ができます。

(ユーザーレイアウトが出荷時設定の場合、下記の内容で表示がされます。)

System設定がSD/HD/3G-A/3G-B-DLで、INPUT > F・7 (DISPLAY) SIMUL設定になっている時、INPUT > F・1 ～ F・4 (1A～1D)のON/OFF設定でレイアウトが変わります。

下記の設定で INPUT > F・1 ～ F・4 (1A～1D)による1～4入力表示の画面です。

1.SDI System設定: SYS > F・1 (SIGNAL IN OUT) > SDI IN タブ)画面上からF・D でSDI System項目のSD/HD/3G-A/3G-B-DLを選択・チェックマークを入れ、F・1 (COMPLETE)を押して確定します。

2.DISPLAY設定: INPUT > F・7 (DISPLAY)をSIMULに設定します。

表示例

1入力 (1A)

2入力 (1A,1B)

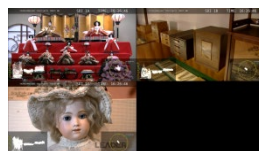
3入力 (1A,1B,1C)

4入力 (1A,1B,1C,1D)

USER 1



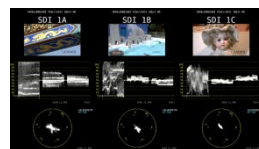
USER 2



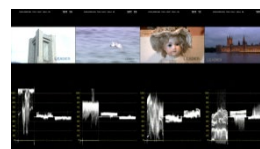
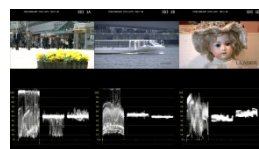
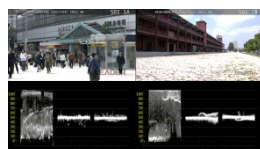
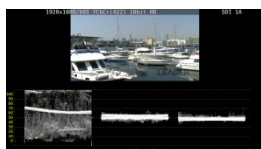
USER 3



USER 4



USER 5



Leader

LV5490 クイックマニュアル

STATUS



●SIGNAL

SDI 信号が入力されているかどうかを、「DETECT」または「NO SIGNAL」で表示します。
「NO SIGNAL」の場合、以降の項目は表示しません。

●FORMAT/SUB IMAGE FORMAT

入力信号のフォーマットを表示します。
通常は水色で表示されますが、適切なフォーマットが入力されないと赤色に変わります。

●Freq(周波数偏差)

サンプリング周波数偏差を表示します。
通常は水色で表示されますが、ERROR SETUP1 タブのFrequency Error をON にすることで、
±10ppm を超えたときに赤色に変わります。

●Cable(ケーブル線長計) (* LV5490SER06ではこの機能はありません。)

入力信号の減衰量を、選択したケーブルの長さに変換して表示します。

(LV5490SER01/LV5490SER02 1A~1D のみ)

3G: < 10m, 10~105m, > 105m (5m ステップ)

HD: < 5m, 5~130m, > 130m (5m ステップ)

SD: < 50m, 50~300m, > 300m (5m ステップ)

●Embedded Audio

入力信号に重畳されているエンベデッドオーディオのチャンネルを表示します。
入力信号が3G-B-DL のときは、ストリーム1 のみ表示します。(3G-B-DS 測定時は、ストリーム2 も表示します)

STATUSエラー項目

SDI	CRC	入力信号に重畳されているCRC と本体で算出したCRC が一致しないときのエラーカウント
	TRS Pos	EAV/SAVのヘッダワード(3FFh, 000h, 000h)の位置が誤っているときや、TRS プロテクションビットのF、V、H ビットがビデオ規格外(ランキングの長さが異なる等)のときのエラーカウント
	TRS Code	EAV/SAVのプロテクションビット(XYZ)中にあるF、V、H と、誤り訂正フラグP3、P2、P1、P0 の対応がビデオ規格外のときのエラーカウント
	ILLEGAL Code	入力信号のデータが、タイミング識別コード(TRS)領域、または補助データフラグ(ADF)で規定されているデータ以外で、「000h~003h」および「3FCh~3FFh」を検出するエラーカウント
	Line Number	重畳されているラインナンバーと、本体内部でカウントしたラインナンバーが異なるときのエラーカウント
ANC	Check Sum	アンシラリデータに含まれるチェックサムを用いたエラーカウント
	Parity	アンシラリデータヘッダ部分に含まれるパリティビットを用いたエラーカウント
Embedded Audio	BCH	重畳されているエンベデッドオーディオのBCH 符号によるエラーカウント
	Parity	重畳されているエンベデッドオーディオのパリティによるエラーカウント
	DBN	重畳されているエンベデッドオーディオの連続性によるエラーカウント
	Inhibit	エンベデッドオーディオパケットが、重畳禁止ラインに重畳されているときのエラーカウント
Video Quality	Audio Sample	映像に非同期的な音声为重畳されたときのエラーカウント
	Freeze	映像のフレーム間で、映像データが一致した場合のエラーカウント
	Black	映像の輝度レベルが、設定値以下になった場合のエラーカウント

3840x2160/25P YCbCr(422) 10bit HD QUAD(SD) SDI 1A-1D TIME: 15:09:25

SIGNAL	SUB IMAGE FORMAT	Freq.	Cable	Embedded Audio
1A CH DETECT	1920x1080/25P HD	1.000	1.2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14, 15, 16	
1B CH DETECT	1920x1080/25P HD	1.000		
1C CH DETECT	1920x1080/25P HD	1.000		
1D CH DETECT	1920x1080/25P HD	1.000		

SDI	1A CH	1B CH	1C CH	1D CH	ANC	1A CH	1B CH	1C CH	1D CH
CRC	0	0	0	0	Check Sum	0	0	0	0
TRS Pos	0	0	0	0	Parity	0	0	0	0
TRS Code	0	0	0	0					
ILLEGAL Code	0	0	0	0					
Line Number	0	0	0	0					

Embedded Audio	1A CH	1B CH	1C CH	1D CH	Video Quality	1A CH	1B CH	1C CH	1D CH
BCH	0	0	0	0	Freeze	0	0	0	0
Parity	0	0	0	0	Black	0	0	0	0
DBN	0	0	0	0	Gain	0	0	0	0
Inhibit	0	0	0	0	Color Sat	0	0	0	0
Audio Sample	0	0	0	0	Level Y	0	0	0	0
					Level C	0	0	0	0

SinceReset 00:01:43

EVENT	LOG	SDI ANALYSIS	ANC DATA VIEWER	ANC PACKET	STATUS SETUP	SELECT CH 1A-1D	ERROR CLEAR
-------	-----	--------------	-----------------	------------	--------------	-----------------	-------------

STATUSエラーは F.5 (STATUS SETUP) で
エラー検出のON/OFF設定が可能です。

Leader

LV5490 クイックマニュアル

イベントログ



STATUS > **F.1** (EVENT LOG) で表示ができます。
イベントログでは、発生したイベントのログを一覧で表示します。
イベント検出の対象は、現在選択しているグループ(1A~1D または 2A~2D)の全チャンネルです。
ただし、3G-B-DS、3G(DL)-4K、12G の測定時は、現在表示しているチャンネルのみイベント検出します。

STATUS > **F.1** (EVENT LOG) > **F.1** (LOG) で
START・STOPの設定ができます。

STATUS > **F.1** (EVENT LOG) > **F.2** (CLEAR) で
イベントログの消去ができます。

イベントは、最大1000 項目まで表示できます。
1001 項目以降のイベントが発生したときの動作を

STATUS > **F.1** (EVENT LOG) > **F.3** (LOG MODE) で
設定ができます。

OVER WR: 古いイベントから上書きして記録します。
STOP: 1001 項目以降のイベントを記録しません。

EVENT LOG LIST	SAMPLE No.	TIME
246: 2014/02/25 11:25:28 IC 1920x1080/59.941	246	11:25:28
245: 2014/02/25 11:25:28 1A 1920x1080/59.941	245	11:25:28
244: 2014/02/25 11:25:27 1C 1920x1080/59.941	244	11:25:27
243: 2014/02/25 11:25:27 1A 1920x1080/59.941	243	11:25:27
242: 2014/02/25 11:25:27 1C 1920x1080/59.941	242	11:25:27
241: 2014/02/25 11:25:27 1A 1920x1080/59.941	241	11:25:27
240: 2014/02/25 11:25:27 1C 1920x1080/59.941	240	11:25:27
239: 2014/02/25 11:25:27 1A 1920x1080/59.941	239	11:25:27
238: 2014/02/25 11:25:26 1C NO SIGNAL	238	11:25:26
237: 2014/02/25 11:25:26 1A NO SIGNAL	237	11:25:26
236: 2014/02/25 11:24:11 - BNC	236	11:24:11
235: 2014/02/25 11:24:10 - BNC	235	11:24:10
234: 2014/02/25 11:24:10 - BNC	234	11:24:10
233: 2014/02/25 11:24:09 - BNC	233	11:24:09
232: 2014/02/25 11:23:59 1D 1920x1080/59.941	232	11:23:59
231: 2014/02/25 11:23:59 1C 1920x1080/59.941	231	11:23:59
230: 2014/02/25 11:23:59 1B 1920x1080/59.941	230	11:23:59
229: 2014/02/25 11:23:59 1A 1920x1080/59.941	229	11:23:59
228: 2014/02/25 11:23:58 - 1920x1080/59.941	228	11:23:58
227: 2014/02/25 11:23:58 - 1920x1080/59.941	227	11:23:58

イベントログ表示例

イベントログ エラー内容

対象ユニット	イベント名	説明
LV5490SER01/ LV5490SER02/ LV5490SER06	FORMAT_ALARM	Format Alarm
	TRS_P	TRS Position Error
	TRS_C	TRS Code Error
	LINE	Line Number Error(Except SD)
	CRC	CRC Error(Except SD)
	EDH	EDH Error(SD)
	ILLEGAL	Illegal Code Error
	FREQ	Frequency Error
	CABLE_ERR	Cable Error
	CABLE_WARN	Cable Warning
	PRTY	Ancillary Data Parity Error
	CHK	Ancillary Data Checksum Error
	A_BCH	Embedded Audio BCH Error(Except SD)
	A_DBN	Embedded Audio DBN Error
	A_PRTY	Embedded Audio Parity Error(Except SD)
	A_INH	Embedded Audio Inhibit Line Error
	A_SMP	Embedded Audio Sample Count Error
	FRZ	Freeze Error
	BLK	Black Error
LV5490SER02/ LV5490SER09	EYE_3G_AMP	3G Amplitude Error
	EYE_3G_TR	3G Risetime Error
	EYE_3G_TF	3G Falltime Error
	EYE_3G_TR_TF	3G Deltatime Error(Tr-Tf)
	EYE_3G_T_JIT	3G Timing Jitter Error
	EYE_3G_A_JIT	3G Current Jitter Error
	EYE_3G_OR	3G Overshoot Rising Error
	EYE_3G_OF	3G Overshoot Falling Error
	EYE_HD_AMP	HD Amplitude Error
	EYE_HD_TR	HD Risetime Error
	EYE_HD_TF	HD Falltime Error
	EYE_HD_TR_TF	HD Deltatime Error(Tr-Tf)
	EYE_HD_T_JIT	HD Timing Jitter Error
	EYE_HD_A_JIT	HD Current Jitter Error
	EYE_HD_OR	HD Overshoot Rising Error
	EYE_HD_OF	HD Overshoot Falling Error
	EYE_SD_AMP	SD Amplitude Error
	EYE_SD_TR	SD Risetime Error
	EYE_SD_TF	SD Falltime Error
	EYE_SD_TR_TF	SD Deltatime Error(Tr-Tf)
	EYE_SD_T_JIT	SD Timing Jitter Error
	EYE_SD_A_JIT	SD Current Jitter Error
	EYE_SD_OR	SD Overshoot Rising Error
	EYE_SD_OF	SD Overshoot Falling Error

対象ユニット	イベント名	説明
LV5490SER09	EYE_12G_AMP	12G Amplitude Error
	EYE_12G_TR	12G Risetime Error
	EYE_12G_TF	12G Falltime Error
	EYE_12G_TR_TF	12G Deltatime Error(Tr-Tf)
	EYE_12G_T_JIT	12G Timing Jitter Error
	EYE_12G_A_JIT	12G Current Jitter Error
	EYE_12G_OR	12G Overshoot Rising Error
	EYE_12G_OF	12G Overshoot Falling Error
	OVER	Level Over
LV5490SER03	CLIP	Clip
	MUTE	Mute
	PAR	Parity Error
	VAL	Validity Error
	CRC	CRC Error
	CODE	Code Violation

Leader

LV5490 クイックマニュアル

位相差測定

位相差測定モード設定 (12G-SDIは除く)

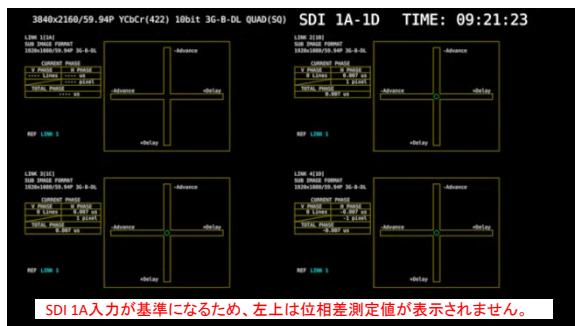
STATUS > F・2 (SDI ANALYSIS) > F・2 (EXT REF PHASE)

位相差測定の基準信号として F・3 (REF SELECT) でEXT、SDIの2種類から選択できます。4KにてEXTはEXT REF 入力信号、SDIはSDI 1A入力信号です。System設定がSD/HD/3G-A/3G-B-DLの場合はINPUT > F・7 (DISPLAY) を SINGLEにすることで基準信号と比較する信号は F・6 (SELECT CH) で選択できます。

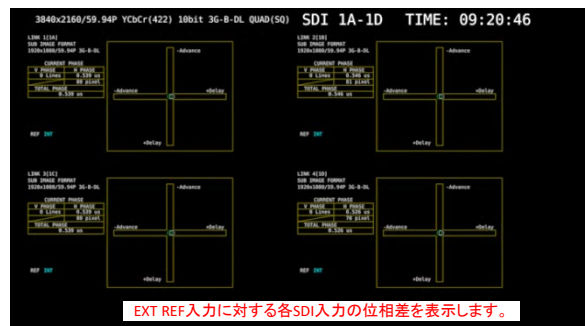
(EXTで行う場合はEXT REF信号を使用する為に、F・6 を押してください。)

F・3 (REF SELECT) がEXT のとき、F・1 (REF SET USER) を押すことで、現在の位相差をゼロにできます。使用システムに合わせて、任意の基準を設定できます。位相差を初期設定に戻すには、F・2 (REF SET DEFAULT) を押します。

F・4 (OH TIMING) 設定 LEGACY : 当社製信号発生器から出力した、タイミングオフセットなしの外部同期信号とSDI 信号を受信した場合に、位相差を0 とします。
(他社製品やSERIAL設定できない製品の場合などの通常設定モードです。)
SERIAL : 受信した外部同期信号とSDI 信号が、信号規格で定義されたタイミングの場合に、位相差を0 とします。



4K入力 および REF SELECT:SDI の時



4K入力 および REF SELECT:EXT の時



System設定がSD/HD/3G-A/3G-B-DLの時、SELECT CHで設定されたチャンネルと位相差の測定をします。

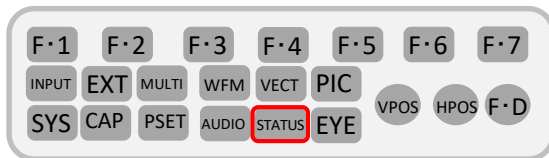


HD入力 (SDI 1A入力) および REF SELECT:EXT の時

Leader

LV5490 クイックマニュアル

位相差測定(12G-SDI)



12G-SDI位相差測定モード設定

STATUS > F.2 (SDI ANALYSIS) > F.2 (EXT REF PHASE)

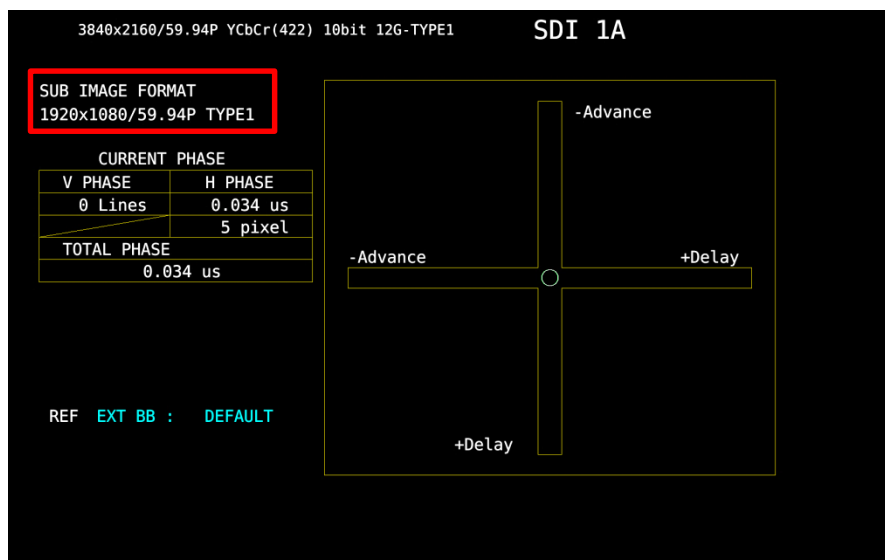
位相差測定の基準信号として12G-SDIの場合の F.3 (REF SELECT)はEXTで固定です。

基準信号と比較する信号は F.6 (SELECT CH)で選択できます。

F.1 (REF SET USER) を押すことで、現在の位相差をゼロにできます。

使用システムに合わせて、任意の基準を設定できます。位相差を初期設定に戻すには、F.2 (REF SET DEFAULT) を押します。

(注意:12G-SDIの位相差測定はSUB IMAGEによる測定になります。)



12G-SDI入力時のEXTとの位相差測定画面

Leader

LV5490 クイックマニュアル

一般的な設定



SYS > **F.2** (SYSTEM SEUP) の **GENERAL SETUP** タブ上で下記の設定ができます。

項目の選択は **F.D** を回し、青枠を設定したい項目に合わせて **F.D** を押すとチェックマークが付きます。設定が完了したら、**F.1** (COMPLETE) で設定を確定させます。

●Boot Mode

起動時のモード選択

Normal: 通常起動

Fast : 高速起動

(ファームウェアのアップデート時はNormal にする必要があります。)

●Capture Mode

CAP キーを押したときの動作モード選択

Screen : 表示画面を静止画で取込み

Video Frame: 1 フレーム分のデータ取込み

●Format

フォーマット表示(1920x1080/59.94i YCbCr(422) 10bit HD など)のOFF / ON

(レイアウトでFORMAT アイテムまたはFormat オプションを配置しているときに有効です。)

●Date

日付の表示形式選択 (y が西暦、m が月、d が日となり、レイアウトでDATE アイテムを配置しているときに有効です。)

OFF / y/m/d / m/d/y / d/m/y

●Time

時刻の表示形式選択

(レイアウトでTIME アイテムまたはTime オプションを配置しているとき、およびステータス表示のイベントログに有効です。)

OFF / Real Time / LTC / VITC / D-VITC

●Input

入力信号表示(SDI 1A など)のOFF / ON

(レイアウトでINPUT アイテムまたはInput オプションを配置しているときに有効です。)

●Icon

マウスアイコン、キーロックアイコン、USBメモリーアイコンのOFF / ON

●Auto Off

ファンクションメニュー自動非表示のOFF / ON

●Time

Auto Off がON のとき、最終キー操作からメニュー自動非表示までの時間設定

1 ~ 60 Sec

●Recall

プリセットの呼び出し時に表示メニュー選択 (どちらかを選択してから、プリセットの登録をしてください。)

Recall Menu : PSET メニュー表示

Function Menu: 測定メニュー表示

●LCD Auto Off

最終キー操作からバックライトの自動消灯時間選択

OFF / 5min / 30min / 60min

●FAN Speed

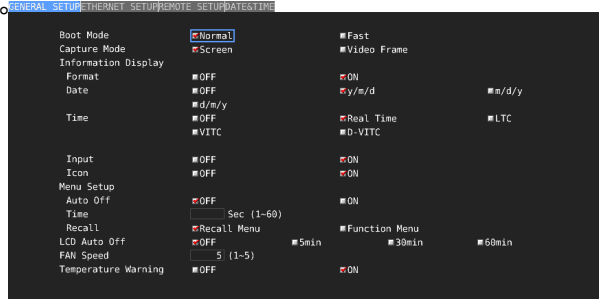
ファン回転速度選択

(数値が大きいほど速く回転し、冷却能力は高くなります。反対に、数値が小さいほどファンの回転音は静かになります。)

1 ~ 5

●Temperature Warning

本体の内部温度が上昇したときのアラーム表示(TEMPERATURE)のOFF / ON



※デフォルト設定はFAN Speedは5と高回転です。
ファンの音が気になる場合1に設定しますと静音になります。

Leader

LV5490 クイックマニュアル

CIE色度図表示 (LV5490SER05)

VECT > F・5 (DISPLAY) > F・1 (MODE)をCIE DIAGRAMにします。



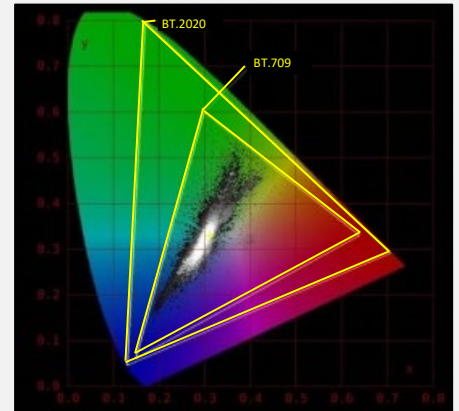
カラートライアングル設定

F・1 (SCALE) > F・1 (TRIANGLE1)、F・2 (TRIANGLE2)で黄色い規格スケラーを表示できます。

トライアングル規格名称表示

F・1 (SCALE) > F・4 (SUB SCALE) > F・4 (TRIANGLE CAPTION)をONに設定して表示ができます。

下記の図は、カラートライアングル設定の F・1 (TRIANGLE1)をBT.2020、F・2 (TRIANGLE2)をBT.709にし、トライアングル規格名称表示をONに設定したときです。



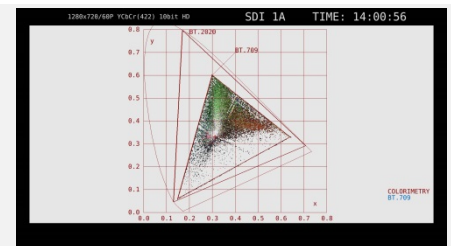
カラリメトリー設定およびPayload ID設定

SYS > F・1 (SIGNAL IN OUT) > SDI IN タブ

- ・COLORIMETRY項目で下記の4つから選択できます。
Payload ID、BT-709、BT-2020、DCI (SD:BT-601 fixed)

カラースケール(ON/OFF)設定

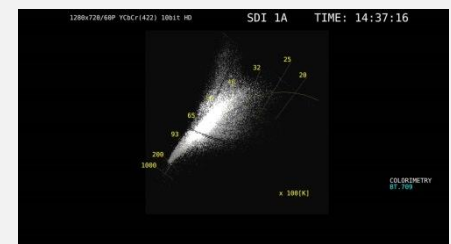
F・1 (SCALE) > F・3 (COLOR)



COLOR OFF時

色度図モード設定(色度図／色温度 表示切換)

F・2 (CIE DIAGRAM) > F・1 (DISP TYPE)



TEMP時

Leader

LV5490 クイックマニュアル

シネゾーン



シネゾーン機能には、ピクチャーの輝度レベルをRGBに置き換えて表示するグラデーション(ステップ)表示機能と、設定した輝度レベルのみ緑色で表示するサーチ表示機能があります。

いずれも設定は **PIC** > **F.4** (CINELITE) > **F.1** (CINELITE DISPLAY)をCINEZONEに設定し、**F.2** (CINEZONE SETUP)で行います。

グラデーション表示

ピクチャーの輝度レベルをグラデーションで表示できます。グラデーション表示では、輝度レベルを1024色に置き換えて表示します。輝度レベルがUPPER以上のときは白で、LOWER未満のときは黒で、ピクチャーを表示します。輝度レベルに対する表示色は、画面右側に表示されるスケールで確認できます。

設定は **F.1** (CINE ZONE FORM)をGRADATEにします。

F.2 UPPER: -6.3 ~ -109.4の範囲で設定ができます。

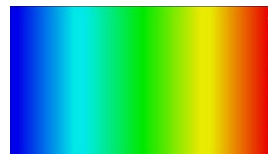
F.3 LOWER: -7.3 ~ -108.4の範囲で設定ができます。



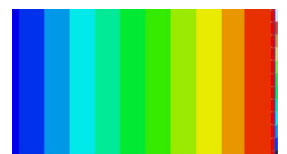
グラデーション表示

ステップ表示

ピクチャーの輝度レベルをステップで表示できます。ステップ表示では、輝度レベルを10%刻みの12色に置き換えて表示します。**F.1** (CINE ZONE FORM)をSTEPにします。UPPER、LOWER、BRIGHTNESS INFO設定はグラデーション表示と同じです。



グラデーション表示



ステップ表示

サーチ表示

サーチ表示では、モノクロで表示されたピクチャーの上に、設定した輝度レベル±0.5%のみを緑色で表示します。

F.1 (CINE ZONE FORM)をSEARCHにします。また、輝度レベルUPPER以上のときは赤で、LOWER未満のときは青で、ピクチャーを表示します。

F.2 (LEVEL) + **F.D**にてサーチするレベルの可変が可能です。



Leader

LV5490 クイックマニュアル

シネライト (%表示)



最大3ポイント(P1～P3)のレベル測定を行うことができます。

PIC > **F.4** (CINELITE/HDR) > **F.1** (CINELITE DISPLAY)を%DISPLAYに設定します。

PIC > **F.4** (CINELITE/HDR) > **F.2** (%DISPLAY SETUP)の中で下記の設定が行えます。

- ・ **F.1** (MEAS POS) :カーソルを移動する測定ポイント選択、**VPOS** **HPOS**でカーソル移動
- ・ **F.2** (MEAS NUMBERS) : 表示する測定ポイント設定、P1、P1+P2、P1+P2+P3
- ・ **F.3** (MEAS SIZE) : 測定サイズ選択、1x1(1画素)、3x3(3x3画素平均化)、9x9(9x9画素平均化)
- ・ **F.4** (UNIT SELECT) : 輝度レベル値表示設定、Y%, RGB%, RGB255、CODE VALUE、CODE VALUE DEC、HDR
(* HDRはLV5490SER07 (HDR) オプションが入っていて、HDR設定がONになっている時に有効です。)
- ・ **F.5** (BRIGHTNESS INFO) : 輝度情報ON/OFF設定 (画面上部の測定数値MAX・MIN・AVG表示)
- ・ **F.6** (SELECT CH) : 表示チャンネル選択



シネライトアドバンス機能

PIC > **F.4** (CINELITE/HDR) > **F.2** (CINELITE ADVANCE)をONにすることでシネライト画面で設定した測定ポイントP1～P3 およびREF を、ベクトル波形画面やビデオ信号波形画面にも連携してマーカー表示できます。



Leader

LV5490 クイックマニュアル

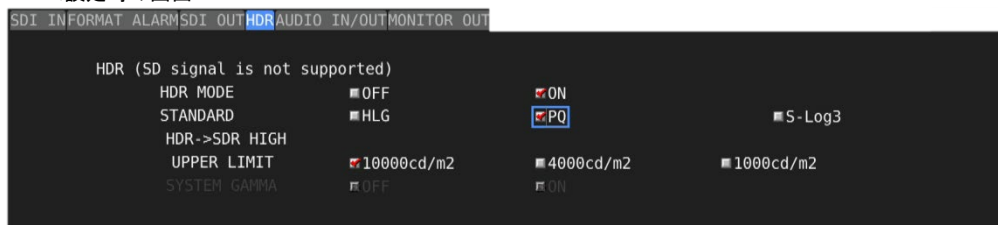
HDR表示 (LV5490SER07)



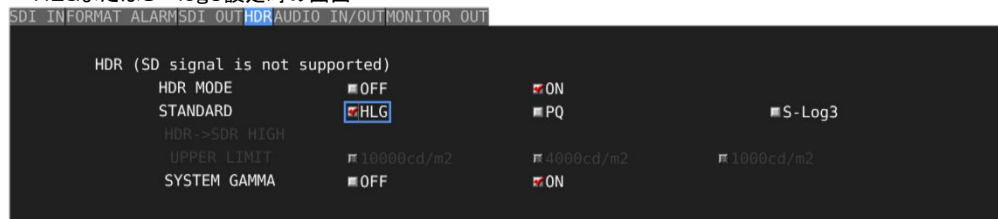
HDR表示のSystem設定

1. **SYS** > **F.1** (SIGNAL IN OUT) > **HDR** タブ HDR MODE の ON に **F.D** を使用してチェックマークを入れます。
(入力信号に合わせて STANDARD 項目 (HLG、PQ、S-Log3) も選択します。)
設定の最後に **F.1** (COMPLETE) を押して確定します。

PQ設定時の画面

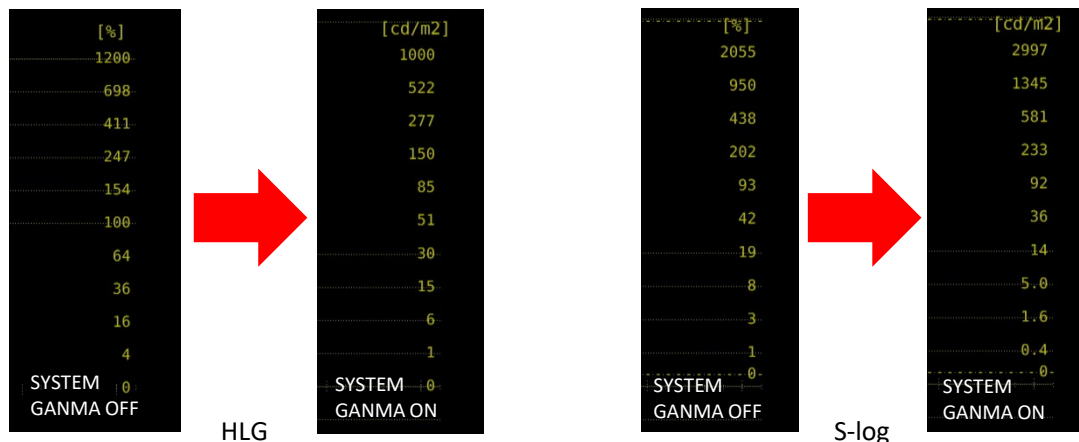


HLGまたはS-log3設定時の画面



HDR SYSTEM GANMA設定

HLGとS-log設定においてSYSTEM GANMA設定 (ON) によりWFM画面上のスケール値が下図のようにcd/m2に代わります。



Leader

LV5490 クイックマニュアル

HDR表示 (LV5490SER07)



HDR ZONE表示

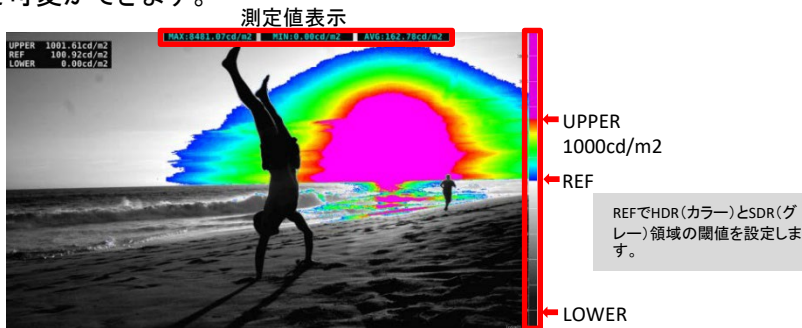
1. PIC > F・4 (CINELITE/HDR) > F・1 (CINELITE DISPLAY)をCINEZONEに設定します。
2. PIC > F・4 (CINELITE/HDR) > F・5 (HDR ZONE)をONに設定します。

・輝度情報ON/OFF設定(画面上部の測定数値表示)

PIC > F・4 (CINELITE/HDR) > F・2 (HDR->SDR SETUP) > F・5 (BRIGHTNESS INFO)

・UPPPER、LOWER、REF設定(表示色領域設定)

PIC > F・4 (CINELITE/HDR) > F・2 (HDR->SDR SETUP) > F・2 (UPPPER)、F・3 (LOWER)、F・4 (REF)を選択してF・Dにて可変ができます。



(例. UPPPERを1000cd/m2にすると1000cd/m2対応ディスプレイにしたときにマゼンダ色が飽和します。)

ウェーブ表示

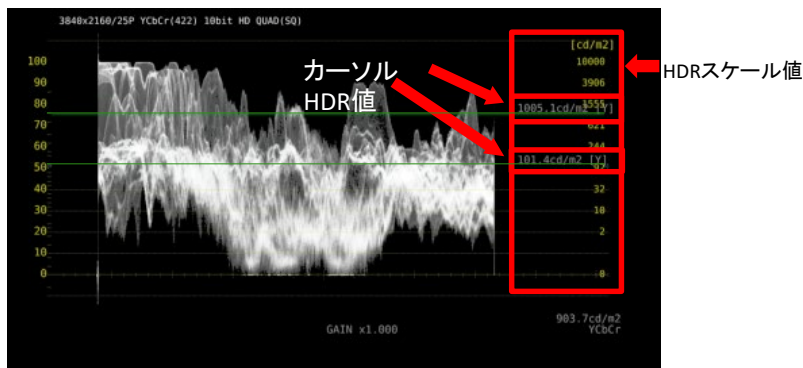
・カーソル設定

WFM > F・5 (CURSOR) > F・1 (CURSOR) : ON、F・3 (Y UNIT) : HDR

F・D でカーソル位置を設定し、F・D を押すことで上・下カーソルを設定できます。

カーソルの数値表示は F・5 (CURSOR VALUE) でON/OFF設定ができます。

例. 下カーソルを100cd/m2、上カーソルを1000cd/m2にしますと下カーソルより上部がHDR、下部がSDRとなります。上カーソルが1000cd/m2以上部分となります。



Leader

LV5490 クイックマニュアル

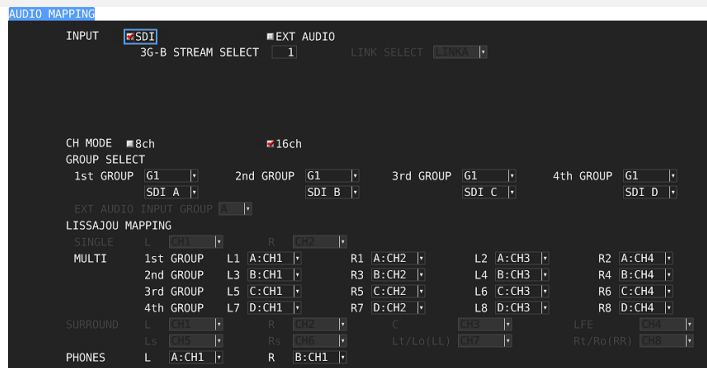
AUDIO (LV5490SER03)



AUDIOマッピング設定

AUDIO > F·1 (MAPPING) **AUDIO MAPPING** タブ

- INPUT: SDI: SDI INPUTに入力したエンベデッドオーディオの測定
EXT AUDIO: DIGITAL AUDIO INPUTに入力した外部オーディオの測定
- CH MODE: 測定チャンネル数設定 (8ch/16ch)
- GROUP SELECT: オーディオグループ設定 (G1/G2/G3/G4)
INPUT 設定がSIMULになっている場合は入力チャンネルの選択も可能です。

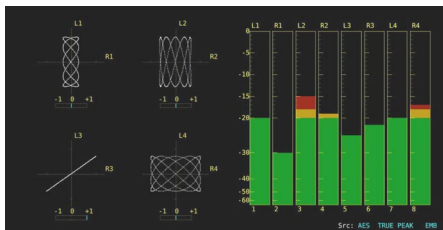


AUDIO表示モード設定

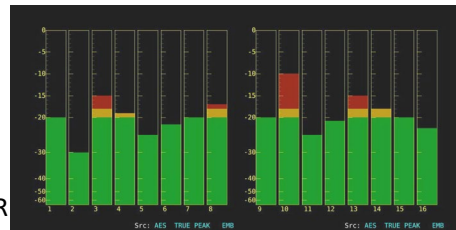
AUDIO > F·2 (DISPLAY MODE)

- LISSAJOU: リサージュを表示します。8ch 測定時はオーディオメーターも表示します。
- METER: オーディオメーターを表示します。8ch 測定時は選択できません。
- SURROUND: 左半分にサラウンド、右半分にオーディオメーターを表示します。
サイマルモードでエンベデッドオーディオ測定時や、16ch 測定時は選択できません。
- STATUS: ステータスを表示します。8ch 測定時はオーディオメーターも表示します。

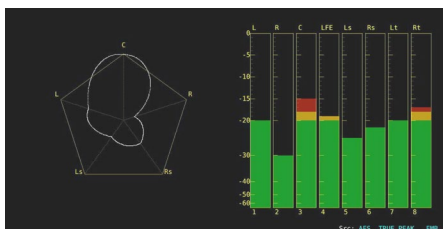
LISSAJOU



METER



SURROUND



STATUS



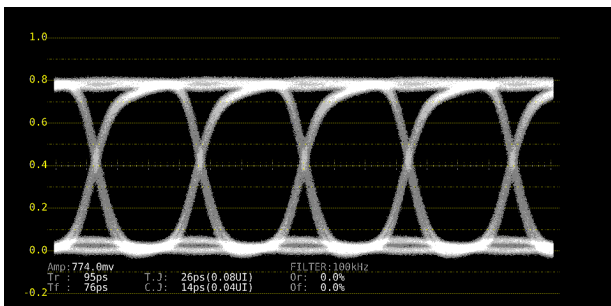
Leader

LV5490 クイックマニュアル

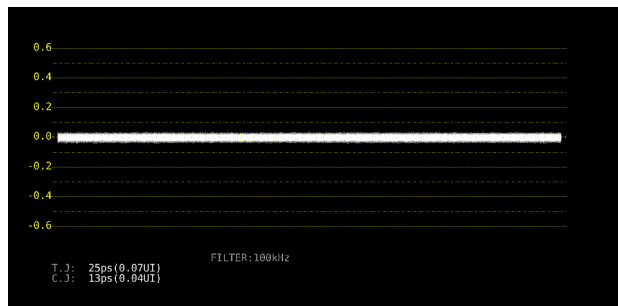
EYE (LV5490SER02/LV5490SER06+09)



EYE > F.2 (MODE) でEYEまたはJITTER表示切替ができます。



EYE表示



JITTER表示

表示リンク切替

- ・HD(DL)の場合、EYE > F.5 (LINK SELECT): A[1A] / B[1B] または A[1C] / B[1D]
- ・3G(DL)ー4K の場合、EYE > F.5 (LINK SELECT): 1[1A] / 2[1B] または 1[1C] / 2[1D]
- ・3G(QL)のとき、EYE > F.5 (LINK SELECT): 1[1A] / 2[1B] / 3[1C] / 4[1D]

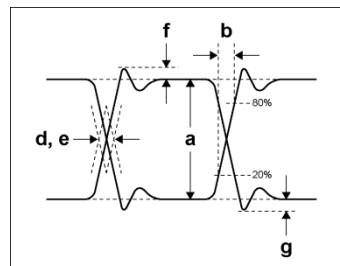
フィルタ切替

EYE > F.3 (EYE SETUP) > F.3 (FILTER)

- ・100kHz: 100kHz 以上のジッタ測定
 - ・1kHz: 1kHz 以上のジッタ測定
 - ・100Hz: 100Hz 以上のジッタ測定
 - ・10Hz: 10Hz 以上のジッタ測定
 - ・TIMING: タイミングジッタを測定します。10Hz 以上のジッタ測定
 - ・ALIGNMENT: アライメントジッタを測定します。入力信号SD以外100kHz以上、SD は1kHz 以上のジッタ測定
- (EYE および JITTER 同時表示については「レイアウト変更(概要)ー応用例ー」を参照してください。)

画面表示されている数値内容

記号	画面表示	説明
a	Amp	アイパターンの振幅
b	Tr	立ち上がり時間
c	Tf	立ち下がり時間(図省略)
d	T.J	タイミングジッタ
e	C.J	カレントジッタ(現在選択しているフィルタを適用したときのジッタ値)
f	Or	立ち上がりエッジのオーバーシュート
g	Of	立ち下がりエッジのオーバーシュート



Leader

LV5490 クイックマニュアル

ビデオノイズメーター (LV5490SER10)



ビデオノイズメーターは、入力されたSDI 信号のY、G、B、R のいずれかの信号に含まれるビデオノイズを測定し、ピクチャー上に表示します。

ビデオノイズメーターOFF/ON

PIC > F.3 (LINE SEL / NOISE) >

F.5 (NOISE) : STOP ビデオノイズメーターOFF
START ビデオノイズメーターON



測定ウインドウ設定 (測定エリアを設定できます。)

PIC > F.3 (LINE SEL / NOISE) >

F.4 (NOISE SETUP) > F.1 (CURSOR)

A1: カーソルA1 の選択 (VPOS HPOS で位置調整)

A2: カーソルA2 の選択 (VPOS HPOS で位置調整)

TRACK: 測定ウインドウの移動 (VPOS HPOS でカーソルA1/A2同時位置調整)

OFF: カーソルA1、A2 の表示OFF



測定信号選択

PIC > F.3 (LINE SEL / NOISE) > F.4 (NOISE SETUP) > F.2 (SIGNAL) : Y / G / B / R

フィルタ選択 (ローパスフィルタ、ハイパスフィルタのカットオフ周波数は、入力フォーマットによって変化します。)

PIC > F.3 (LINE SEL / NOISE) > F.4 (NOISE SETUP) > F.2 (FILTER) > F.1 (LPF) / F.2 (HPF)

LPF: 5.5MHz / 4.4MHz / 3.6MHz / 2.7MHz / 1.4MHz / 0.7MHz / THROUGH
LPF: 30MHz / 24MHz / 20MHz / 15MHz / 7.5MHz / 3.7MHz / THROUGH
LPF: 60MHz / 48MHz / 40MHz / 30MHz / 15MHz / 7.5MHz / THROUGH
LPF: 120MHz / 96MHz / 80MHz / 60MHz / 30MHz / 15MHz / THROUGH
LPF: 240MHz / 192MHz / 160MHz / 120MHz / 60MHz / 30MHz / THROUGH
LPF: 0.404 / 0.323 / 0.269 / 0.202 / 0.101 / 0.0505 / THROUGH
HPF: OFF / ON

測定結果表示サイズ選択

PIC > F.3 (LINE SEL / NOISE) > F.4 (NOISE SETUP) > F.4 (RESULTS SIZE) : SMALL / LARGE



アラーム機能OFF/ON (測定結果が設定したしきい値以上になると、測定結果表示が赤色になります。)

PIC > F.3 (LINE SEL / NOISE) > F.4 (NOISE SETUP) > F.5 (ALARM) > F.1 (UNIT) : OFF/ON

アラーム機能のしきい値設定

PIC > F.3 (LINE SEL / NOISE) > F.4 (NOISE SETUP) > F.5 (ALARM) > F.1 (ALARM LEVEL)

しきい値は -80dB (0.1mV) ~ 0dB (700.0mV) で F.D にて設定します。

Leader

LV5490 クイックマニュアル

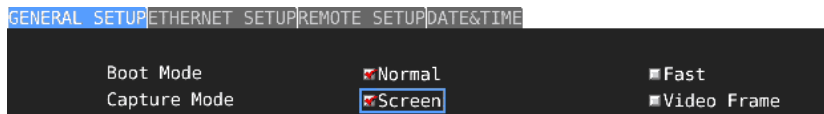
スクリーンキャプチャ



1. スクリーンキャプチャ設定

SYS > **F.2** (SYSTEM SETUP) **GENERAL SETUP** タブ

Capture Mode を Screen に **F.D** でチェックマークを入れ、設定の最後に **F.1** (COMPLETE) を押して確定します。



2. ファイル形式選択

CAP > **F.4** (FILE TYPE) **F.1** BMP、**F.2** BSG の必要なUSBメモリーへ保存するファイル形式をONに設定します。

BMP : 保存したデータは、PCで確認できます。

BSG : 保存したデータは、LV5490本体で読込表示できます。

3. スクリーンキャプチャの実行

次にスクリーンキャプチャをしたい画面を表示させます。

CAP を押します。(**CAP** を押した時点で表示画面が内部メモリにキャプチャされます。)

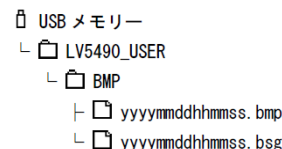
注意: タブメニュー、ファイルリスト、システムメニュー画面など、一部の画面はキャプチャできません。

4. USBメモリーへの保存

USBメモリーをパネル面に実装し、画面右上に  が表示され

USBメモリーが認識されたことを確認します。

F.5 (STORE) を押してUSBメモリーの下記のフォルダに保存します。



5. USBメモリーのキャプチャデータ表示

USBメモリーにBSG形式で保存したキャプチャデータは、本体に表示したり、現在の入力信号と重ねて表示したりすることができます。

本体にUSBメモリーを接続し、**CAP** > **F.6** (RECALL) を押します。

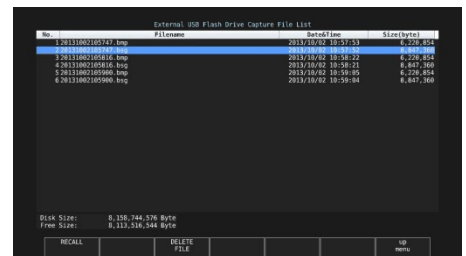
ファイルリスト画面が表示されるので **F.D** を回して表示するBSG形式のファイルを選択し、**F.1** (RECALL) を押すとキャプチャ画面が表示されます。

また、**CAP** > **F.3** (DISPLAY) で下記の選択ができます。

REAL: 現在の入力信号を表示します。

HOLD: キャプチャデータを表示します。ビデオ信号波形、ベクトル波形、アイパターン波形はシアンで表示します。

BOTH: 現在の入力信号とキャプチャデータの輝度を半分にして、重ねて表示します。



ファイルリスト画面

6. USBメモリーのキャプチャデータ削除

本体にUSBメモリーを接続し、**CAP** > **F.6** (RECALL) を押します。ファイルリスト画面が表示されるので **F.D** を

回して削除したいファイルを選択し、**F.3** (DELETE FILE) を押してから **F.1** (DELETE YES) を押すとファイルが

削除されます。

Leader

LV5490 クイックマニュアル

フレームキャプチャ(MANUAL)

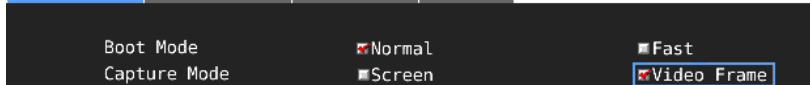


1. フレームキャプチャ設定

SYS > **F.2** (SYSTEM SETUP) **GENERAL SETUP** タブ

Capture Mode を Video Frame に **F.D** でチェックマークを入れ、**F.1** (COMPLETE)を押して確定します。

GENERAL SETUP ETHERNET SETUP REMOTE SETUP DATE&TIME



2. ファイル形式選択

CAP > **F.4** (FILE TYPE) > **F.3** (DPX)、**F.4** (TIF)、**F.5** (FRM)の必要なUSBメモリーへ保存するファイル形式をONに設定します。

DPX: ピクチャー部分のみを10bit のDPX 形式で保存します。

入力信号が12bit であっても、10bit に丸めて保存します。

TIF: ピクチャー部分のみをTIF 形式で保存します。

このデータは、DPX をTIF に変換したものです。

FRM: 1 フレーム分のデータを保存します。

3. フレームキャプチャの実行

フレームキャプチャをしたい画面を表示させます。**CAP** > **F.5** (TRIGGER)をMANUALに設定し、**F.2** (REFRESH)で1フレーム分のデータを本体に取り込みます。

4. USBメモリーへの保存

USBメモリーをパネル面に実装し、画面右上に  が表示され USBメモリーが認識されたことを確認します。

CAP > **F.5** (STORE)でキャプチャデータをUSBメモリーへ保存します。

5. エラーキャプチャ

エラーキャプチャを行う場合は、**CAP** > **F.1** (TRIGGER)をERRORに設定し、**F.2** (REFRESH)でスタートします。画面右上にキャプチャ待機表示が出ます。



エラー待機中

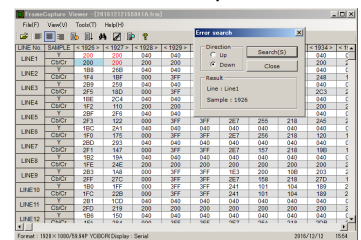
6. キャプチャファイル表示

リーダー電子ホームページの会員専用サイトからFrameCapture Viewerソフトをダウンロードし、Windows PC にインストールして表示ができます。FrameCapture Viewer詳細はダウンロードしたFrameCapture Viewer 取扱説明書を参照してください。

<http://www.leader.co.jp/>

Error search機能

この機能は、FrameCapture Viewerソフト上でOptions のErrorDetection にチェックをした場合に有効なり、Search ボタンをクリックすると、カレントのセルからエラーデータ検索します。エラー箇所は赤字で表示されます。



Leader

LV5490 クイックマニュアル

信号出力設定 (ジェネレータ設定)

SYS > F・1 (SIGNAL IN OUT)

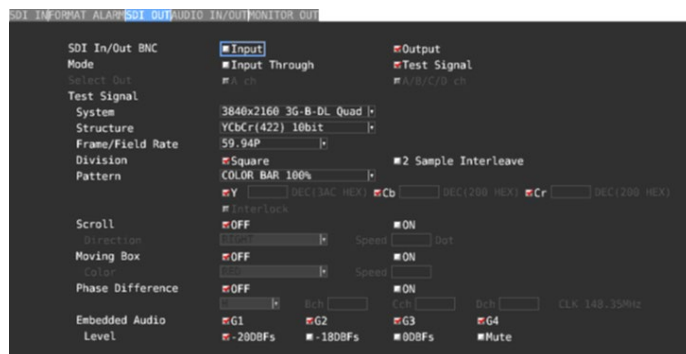
F・2 (PREV TAB)、F・3 (NEXT TAB) で SDI OUT タブを選択します。

SDI In/Out BNC : Output、Mode: Test Signal に F・D を使用してチェックマークを入れます。

さらに、Test Signal の項目を出力させたい信号に合わせて F・D を使用して設定を行います。

また、SDI In/Out BNC : Output、Mode: Input Thru にすることでパススルーモードになります。

設定の最後に F・1 (COMPLETE) を押して確定します。



イニシャライズ設定

SYS > F・7 (INITIALIZE)

- F・1 (PARAM INIT YES) : 下記の設定以外が初期化されます。
 - ・イーサネット設定
 - ・リモート設定
 - ・日時設定
 - ・プリセット設定
 - ・レイアウト設定
- F・2 (LAYOUT INIT YES) : レイアウト設定のみ初期化されます。
- F・3 (ALL INIT YES) : PARAM INIT と LAYOUT INIT を同時に行います。

工場出荷時設定: PARAM INIT (日時設定を除く) を含む初期化を行います。

VPOS と HPOS を押しながら電源を入れ、F・3 (SRAM/FLASH INIT YES) で実行します。

注意: イニシャライズ設定はFirmwareバージョン1.4以降で設定が可能です。

バージョン確認方法はSYSキーを押し、ファンクションメニューF・3 (SYSTEM INFO) で確認ができます。

Leader

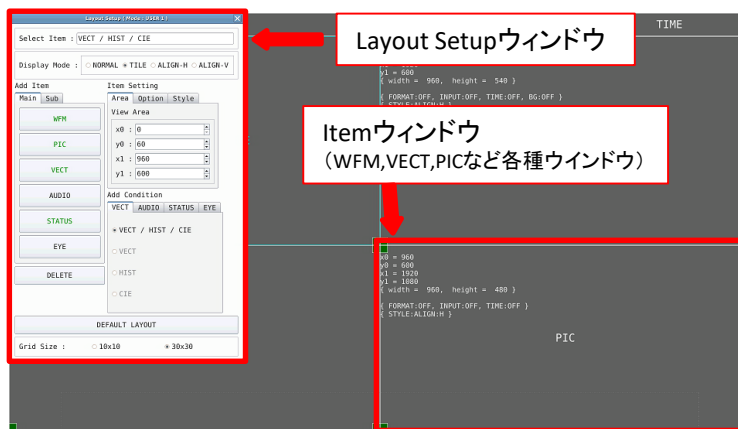
LV5490 クイックマニュアル(レイアウト編)

レイアウト変更 — 基本 —

WFM、VECT、PIC、AUDIO、STATUS、EYE キーを押したときの測定画面(各1種類)、およびMULTIキーを押したときの測定画面(USER1~5)は、自由にレイアウトの変更ができます。
前面パネルまたは背面パネルのUSB 端子にマウスを接続して操作・設定を行います。

レイアウト設定画面の表示

WFM、VECT、PIC、MULTI (USER1) などのレイアウト変更したい画面を表示させます。
画面上でマウスを右クリックし、表示されるウインドウのLAYOUTを選択します。



レイアウト手順

ここでは例として、基本例と応用例の3点を紹介します。

基本例 P.23

MULTI (USER1) のレイアウトを変更する手順 (オーディオアイテムの追加など)

- ① レイアウト画面の表示
- ② 画面右上のTIME からDATE へのアイテム変更
- ③ ベクトル波形をピクチャーに重ねる
- ④ オーディオのアイテム追加
- ⑤ STATUSアイテムにTIME を追加
- ⑥ 変更の確定

応用例 P.25

MULTI (USER1) のレイアウトを変更する手順 (VECTとCIEチャートを同時表示)

- ① レイアウト画面の表示
- ② 画面上のアイテムをすべて削除
- ③ VECTアイテムを追加
- ④ CIEアイテムを追加
- ⑤ 変更の確定

応用例 P.27

EYEのレイアウトを変更する手順 (EYE測定とJitter測定の同時表示)

- ① レイアウト画面の表示
- ② EYE/JITTER表示の削除
- ③ EYEおよびJitterアイテムの選択／追加
- ④ Format、Input、Timeアイテム表示
- ⑤ 変更の確定

Leader

LV5490 クイックマニュアル(レイアウト編)

レイアウト変更(概要) — 基本例 —

(基本例) MULTI(USER1)のレイアウトを変更する手順(オーディオアイテムの追加など)

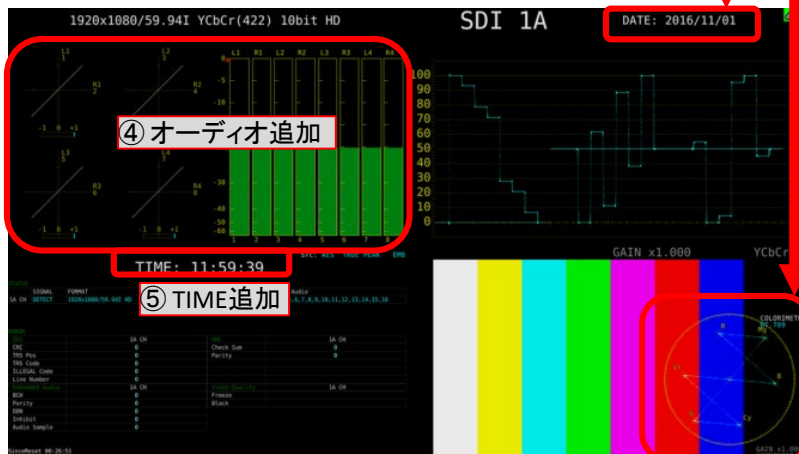
- ① レイアウト画面の表示
- ② 画面右上のTIME からDATE へのアイテム変更
- ③ ベクトル波形をピクチャーに重ねる
- ④ オーディオのアイテム追加
- ⑤ STATUSアイテムにTIMEを追加
- ⑥ 変更の確定



変更前

② TIME → DATE

③ ベクトルの移動



変更後

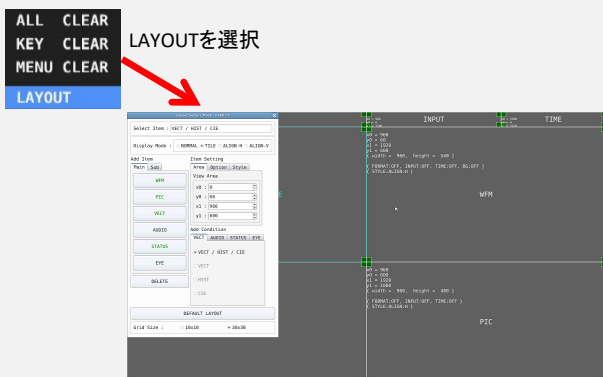
Leader

LV5490 クイックマニュアル(レイアウト編)

レイアウト変更(手順) — 基本例 —

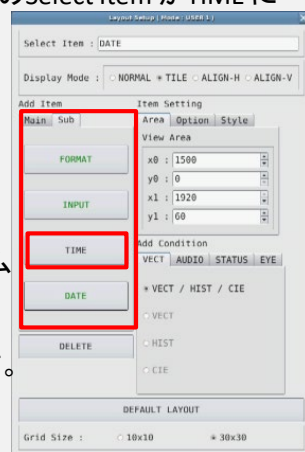
① レイアウト画面の表示

- MULTI を押し、F・1 (LAYOUT SELECT) をUSER 1にします。
(マルチ表示には、USER 1～USER 5の5個のレイアウトがあります。)
- 測定画面上で右クリックで表示したウインドウのLAYOUTを選択しレイアウト画面を表示させます。



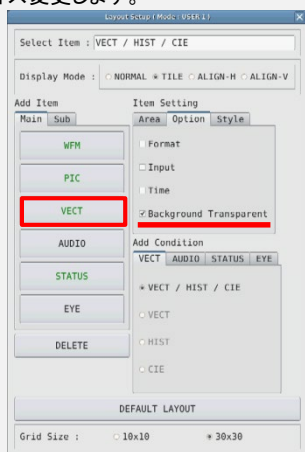
② 画面右上のTIMEをDATEに変更

- 画面右上のTIME アイテムをクリック選択します。
(TIME アイテム枠の色と文字が水色に変わり、Layout SetupウインドウのSelect Item がTIME になります。)
- Layout SetupウインドウのDELETEキーでTIME アイテムを削除します。
- Add ItemのSubタブ内のDATEアイテムをクリック選択します。
- 表示されたDATEアイテムをサイズ変更を行いながら、ドラッグして表示させたい場所に移動させます。



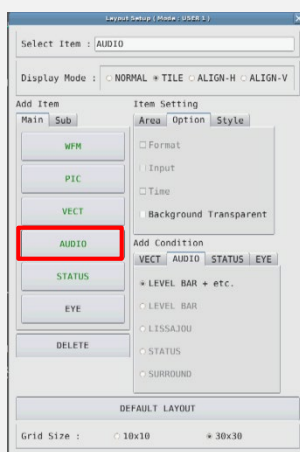
③ ベクトル波形をピクチャーに重ねる

- Add ItemのMainタブ内のVECT アイテムを選択し、Item SettingのOptionタブ内のBackground Transparentをクリックします。
- VECT アイテムをピクチャーの上に配置・サイズ変更します。



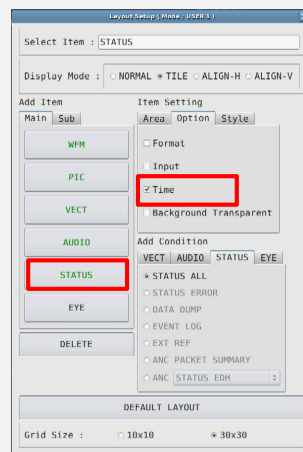
④ オーディオの追加

- Main タブのAUDIO をクリックし、AUDIO アイテムをVECT アイテムがあった場所に配置します。



⑤ ステータスにTIMEを追加

- STATUS アイテムをクリックし、Option タブのTime をクリックします。
(OptionタブのTimeは、表示位置・サイズ変更はできません。)



⑥ 変更の確定

レイアウト画面上で右クリックし、COMPLETE をクリックします。

Leader

LV5490 クイックマニュアル(レイアウト編)

レイアウト変更(概要) ー応用例1ー

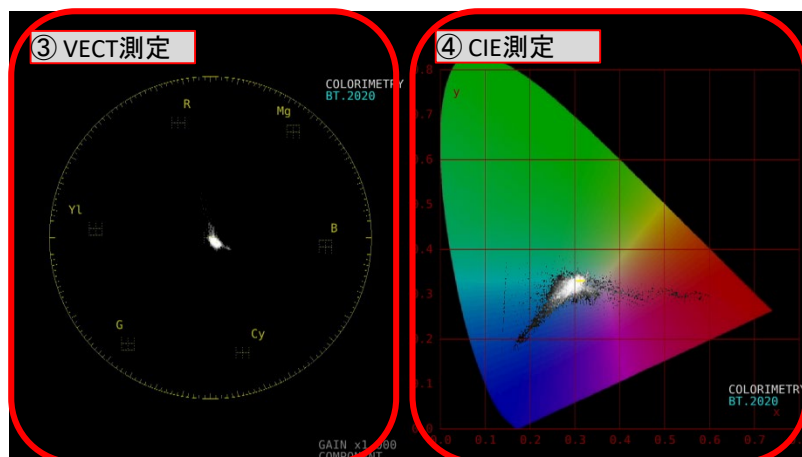
(基本例) MULTI(USER1)のレイアウトを変更する手順(VECTとCIEチャートを同時表示)

- ① レイアウト画面の表示
- ② 画面上のアイテムをすべて削除
- ③ VECTアイテムを追加
- ④ CIEアイテムを追加
- ⑤ 変更の確定



変更前

MULTI (USER1)アイテムをすべて削除してからVECTとCIEアイテムを追加します。



変更後

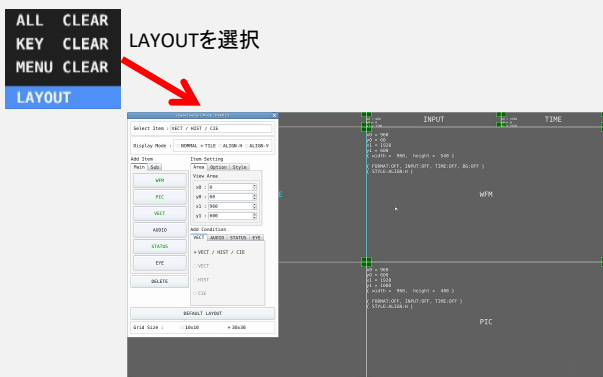
Leader

LV5490 クイックマニュアル(レイアウト編)

レイアウト変更(手順) ー応用例1ー

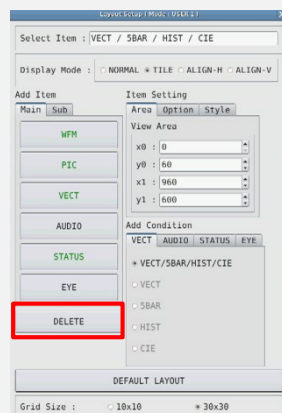
① レイアウト画面の表示

- MULTI を押し、F・1 (LAYOUT SELECT) をUSER 1にします。
(マルチ表示には、USER 1～USER 5の5個のレイアウトがあります。)
- 測定画面上で右クリックで表示したウインドウのLAYOUTを選択しレイアウト画面を表示させます。



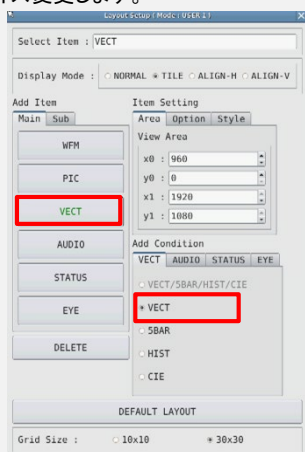
② 画面上のアイテムをすべて削除

- 画面左下のDELETE アイテムをクリックします。
クリックする毎に表示されているアイテムが消えます。数回クリックして表示しているアイテムをすべて削除します。



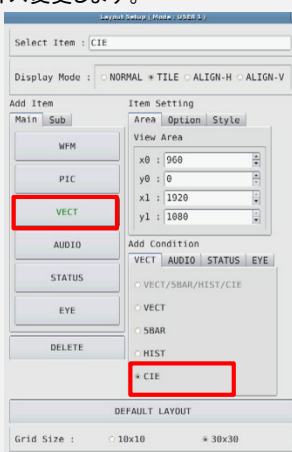
③ VECTアイテムを追加。

- Add ConditionのVECTタブ上のVECTを選択します。
- Add ItemのMainタブ内のVECT アイテムをクリックします。
- VECT アイテムをピクチャーの上に配置・サイズ変更します。



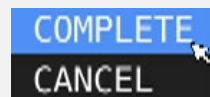
④ CIEアイテムを追加。

- Add ConditionのVECTタブ上のCIEを選択します。
- Add ItemのMainタブ内のVECT アイテムをクリックします。
- CIEアイテムをピクチャーの上に配置・サイズ変更します。



⑤ 変更の確定

- レイアウト画面上で右クリックし、COMPLETE をクリックします。



補足: カラーライアングル設定方法

- MULTIキーを押します。
- 「F3」MULTI VEC>「F5」DISPLAY>「F1」MODEをCIE DIAGRAMに変更します。
- MULTIキーを2回押します。
- 「F3」MULTI VEC>「F1」SCALEを選択し、「F1」TRIANGLE1・「F2」TRIANGLE2でOFF/ON設定ができます。

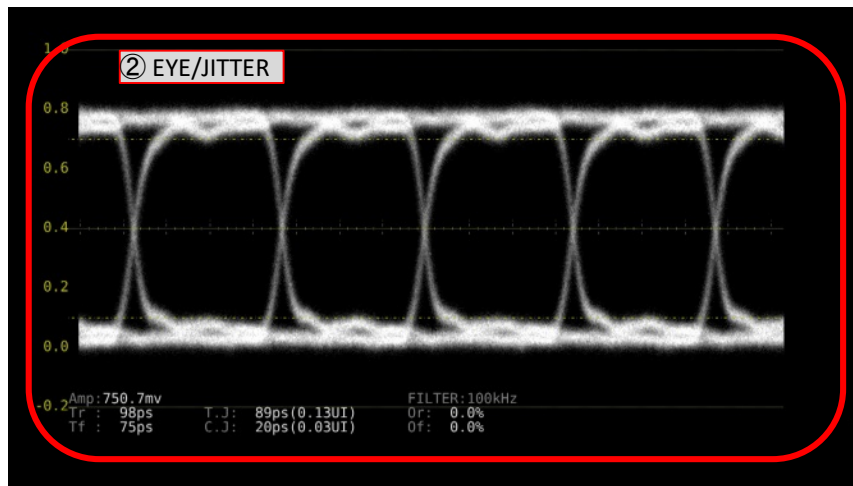
Leader

LV5490 クイックマニュアル(レイアウト編)

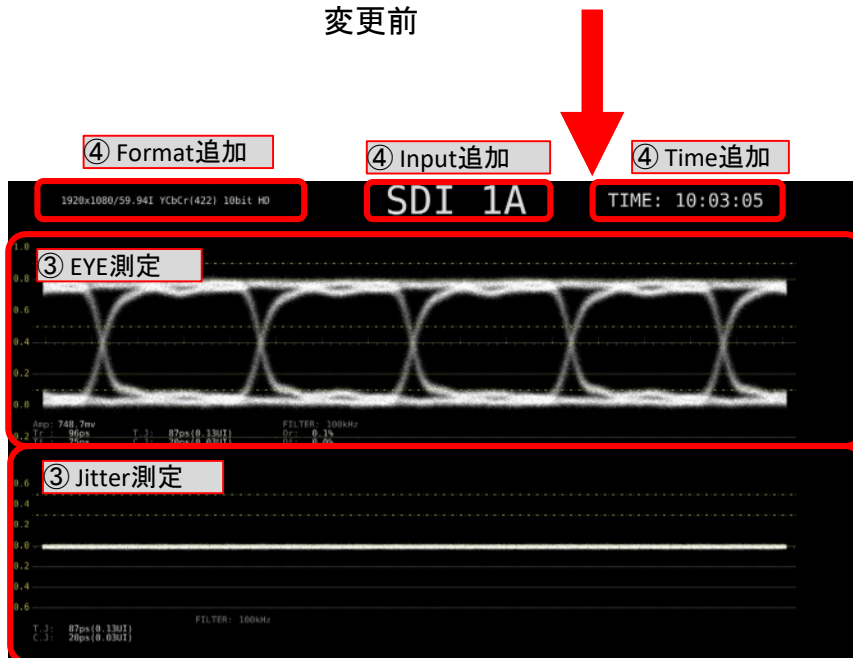
レイアウト変更(概要) ー応用例2ー

(応用例) EYEのレイアウトを変更する手順(EYE測定とJitter測定の同時表示)

- ① レイアウト画面の表示
- ② EYE/JITTER表示の削除
- ③ EYEおよびJitterアイテムの選択／追加
- ④ Format、Input、Timeアイテム表示
- ⑤ 変更の確定



変更前



変更後

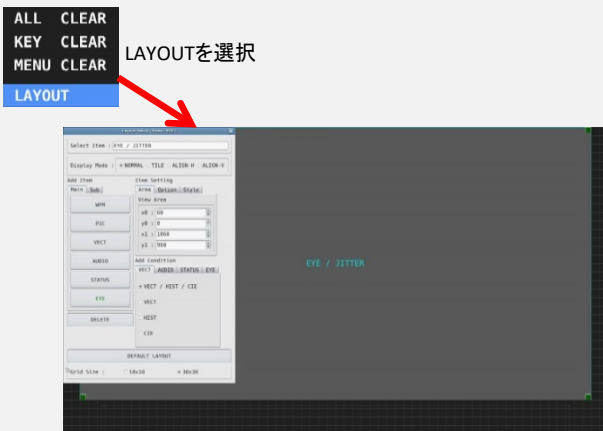
Leader

LV5490 クイックマニュアル(レイアウト編)

レイアウト変更(手順) ー応用例2ー

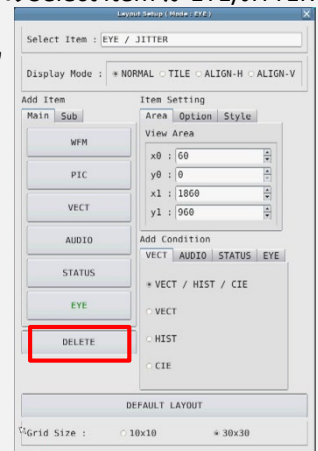
① レイアウト画面の表示

- EYE を押してEYE表示画面を表示します。
- 測定画面上で右クリックで表示したウインドウの LAYOUT を選択しレイアウト画面を表示させます。



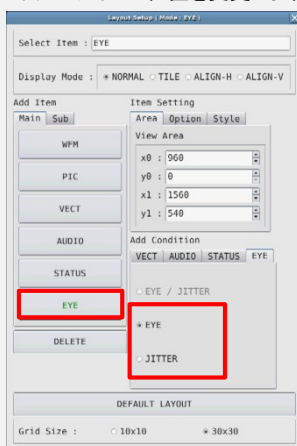
② EYE/JITTERアイテム削除

- 画面上のEYE/JITTERアイテムをクリック選択します。
(EYE/JITTERアイテム枠の色と文字が水色に変わり、Layout SetupウインドウのSelect Item がEYE/JITTER になります。)
- Layout SetupウインドウのDELETEキーでEYE/JITTER アイテムを削除します。



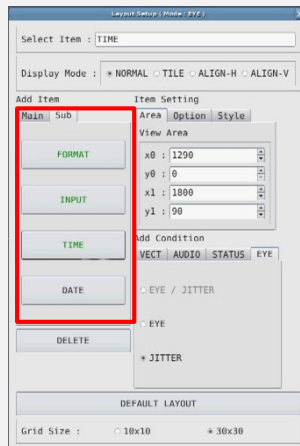
③ EYEおよびJITTERアイテムの選択／追加

- Add ConditionのEYEタブ内のEYEを選択し、Add ItemのMainタブ内のEYEを押すことでEYEアイテムが追加されます。
同様にJITTERアイテムも追加させます。
- 各アイテムサイズと位置を変更します。



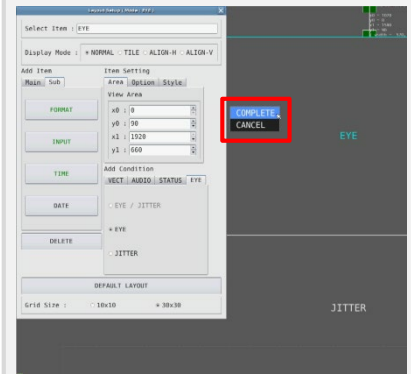
④ Format、Input、Timeアイテム表示

- Add ItemのSubタブ上のFORMAT、INPUT、TIMEでアイテムを追加します。
- 各アイテムサイズと位置変更します。



⑤ 変更の確定

- レイアウト画面上で右クリックし、COMPLETE をクリックします。



補足: デフォルト設定方法

Layout Setupウインドウの設定上の下部の DEFAULT LAYOUT を押すことでデフォルト設定に戻ります。

Leader

LV5490 クイックマニュアル

プリセット 登録／削除



プリセット機能は、パネル設定を60点まで登録ができる機能です。

イーサネット、リモート、日時設定を除いたすべての項目が登録されます。

登録／削除設定は **PSET** を長押しします。

F.D で登録／削除するプリセットナンバーを選択します。

登録は左下図の登録画面上の **F.2** (STORE) を押します。(削除は **F.3** (DELETE) で行います。)

登録時にファイル名は **F.1** (COMENT INPUT) を押し、右下図のコメント入力画面で入力します。

入力方法は下記の内容のファンクションキーと **F.D** または前面パネルに接続したUSBマウスで行います。

F.1 (CLEAR ALL) :すべての文字列を削除します。

F.2 (DELETE) :カーソル上の文字を削除します。

F.3 (INSERT) :カーソルの位置に選択した文字を挿入します。

F.4 (<=) :カーソルを左に移動します。

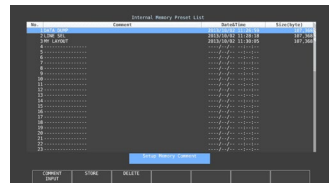
F.5 (=>) :カーソルを右に移動します。

F.6 (CHAR SET) :文字を入力します。

F.D :回して文字を選択、押して文字を入力します。USBマウスの場合は
ポインターを入力したい文字に合わせて左クリックで入力します。

次に **F.7** (up menu) を押し、**F.D** で登録するプリセット番号を選択します。

最後に **F.2** (STORE) を押して登録ができます。



プリセット登録画面



プリセットコメント入力画面

プリセット 呼出



プリセット呼出はプリセット登録したプリセットナンバーから呼び出します。

PSET を押し、ファンクションメニュー上にプリセットナンバーを表示させます。

No.7～60を表示させたい場合は、**F.7** または **F.D** で表示を変更し、該当するプリセットナンバーをファンクションキーで呼び出します。

No.1 DATA DUM P	No.2 LINE SEL	No.3 MY LAYOU T	No.4	No.5	No.6	more
F.1	F.2	F.3	F.4	F.5	F.6	F.7

LV5490 クイックマニュアル

リーダー電子株式会社

本社・横浜市港北区綱島東2-6-33 TEL (045) 541-2122 (代表)

●関西営業所 (06) 6192-1152

URL : <http://www.leader.co.jp> メール: sales@leader.co.jp

※製品仕様は予告無く変更することがございます。